

陳 情 文 書 表

(産業観光局)

受 理 番 号	129	受 理 年 月 日	令和3年2月10日
件 名	飲食業及び関連業界への一層の支援等		
要 旨	<p>一昨年秋の消費税増税に続き、昨年来の新型コロナウイルスの影響も加わって、料理飲食業及び関連業界においては、売上げの減少というかつてない危機に見舞われている。事業主にとって営業の継続が危ぶまれるだけでなく、従業員の雇用にも既に影響が出ている。米、野菜、魚等の調理材料やお酒等の生産者、流通を担っている業界等、一口に関連業種と言ってもその裾野は大変広く、連鎖的にその影響が及んでいる。どの分野でもそうだが、私たちの業界でも、京野菜や京料理の生産、調理等、専門的な技術が蓄積され、職人としての誇りを持って京の食文化を支え、担っていると自覚している。その灯を消さないためにも、事業と雇用の存続が切実な課題になっている。</p> <p>ついては、新型コロナウイルスの影響を被っている飲食業及び関連業者が、引き続き今の仕事を続けられるよう、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都市会として及び市長として、消費税減税の意見を国に上げること。 2 飲食業及び関連業界の事業が存続できるよう、市において、かつ国にも声を上げ、給付金や支援金の一層の拡大、充実及びハードルを引き下げるなど、必要な支援策を講じること。 		
陳 情 者			
回付委員会	産業交通水道委員会		